

2018年12月25日

SUBARU 陸上自衛隊新多用途ヘリコプター試作機の飛行試験を開始

SUBARUは、本日2018年12月25日に、航空宇宙カンパニー宇都宮製作所(栃木県宇都宮市)において開発中の陸上自衛隊新多用途ヘリコプター試作機の飛行試験を開始しました。

本試作機は、同日午後2時50分、当社のテストパイロットの操縦により宇都宮飛行場を離陸し、周辺空域において約55分の社内飛行試験を行った後、無事に同飛行場に着陸しました。

陸上自衛隊新多用途ヘリコプターは、米国ベル・ヘリコプター・テキストロン社と共同開発した民間向け最新型ヘリコプター「SUBARU BELL 412EPX」を共通プラットフォームとし、防衛装備庁との間で締結した試作請負契約により陸上自衛隊向けに開発中の機体です。

今後、2018年度末の防衛装備庁への納入に向け、引き続き各種の社内飛行試験を実施します。また、宇都宮製作所内に陸上自衛隊新多用途ヘリコプターおよび「SUBARU BELL 412EPX」用の新たな製造ラインを構築して量産体制を整え、防衛事業の推進と、海外を含む民間ヘリコプター市場での販売拡大に邁進します。



飛行試験中の試作機



SUBARU BELL 412EPX
(陸上自衛隊新多用途ヘリコプターのベース機)